

News Release

No. 57-32

2020年5月8日

景気判断は大きく悪化、8割以上の企業で 新型コロナウイルス感染症の影響が出ている

——— 第163回企業経営動向調査より ———

埼玉県内の企業を対象に4月に実施したアンケート「第163回企業経営動向調査」(対象企業939社、回答企業数220社、回答率23.4%)によると、景気判断は大きく悪化、8割以上の企業で新型コロナウイルスの影響が出ている。

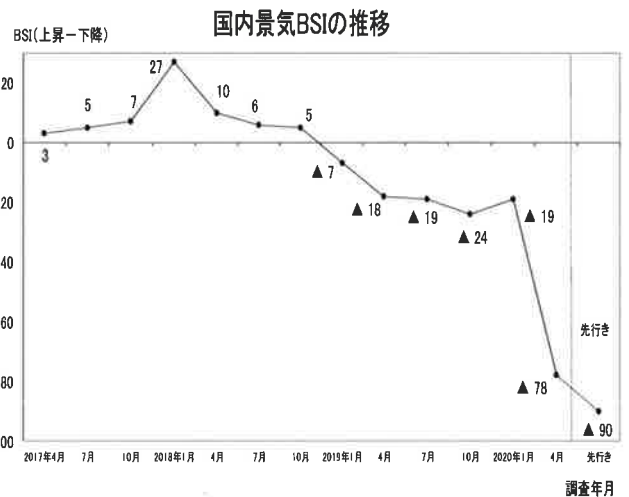
最近(2020年4月)の国内景気に対する見方は、「上昇」2%、「下降」80%で、BSI(「上昇」－「下降」の企業割合)は▲78となり、前回調査(2020年1月)の▲19から新型コロナウイルス感染症の影響により59ポイントの大幅な悪化となった。

BSIのマイナス幅は、リーマンショックの影響で景気が大きく悪化した2009年4月調査(▲86)以来11年振りの大きさである。

業種別にみると、製造業はBSI▲69で前回調査の▲33から36ポイントの悪化、非製造業は▲83で前回調査の▲11から72ポイントの悪化となった。個別業種では、「飲食店・宿泊」▲100、「不動産」▲91、「運輸・倉庫」▲88、「卸売」▲87などで大きなマイナスとなった。

(先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」1%、「下降」91%で、BSIは▲90と現状から12ポイントの悪化となった。先行きさらに厳しくなると見ている。



新型コロナウイルス感染症の経営への影響については、「大きな影響が出ている」が28.2%、「影響が出ている」が55.5%、「影響は出ていない」が16.4%となった。

業種別にみると「大きな影響が出ている」が製造業で20.8%、非製造業で32.2%、「影響が出ている」が製造業で64.9%、非製造業で50.3%、「影響は出ていない」が製造業で14.3%、非製造業で17.5%であった。

また、個別業種で「大きな影響が出ている」が多かったのは、「飲食店・宿泊業」87.5%、「サービス業」40.0%、「小売業」38.9%などであった。(照会先: 吉嶺)

新型コロナウイルス感染症の影響 単位: %

	全産業	製造業	非製造業
大きな影響が出ている	28.2	20.8	32.2
影響が出ている	55.5	64.9	50.3
影響は出ていない	16.4	14.3	17.5

1. 景況判断

(1) 国内景気

(現状)

最近(2020年4月)の国内景気に対する見方は、「上昇」2%、「下降」80%で、BSI(「上昇」-「下降」の企業割合)は▲78となり、前回調査(2020年1月)の▲19から新型コロナウイルス感染症の影響により59ポイントの大幅な悪化となった。

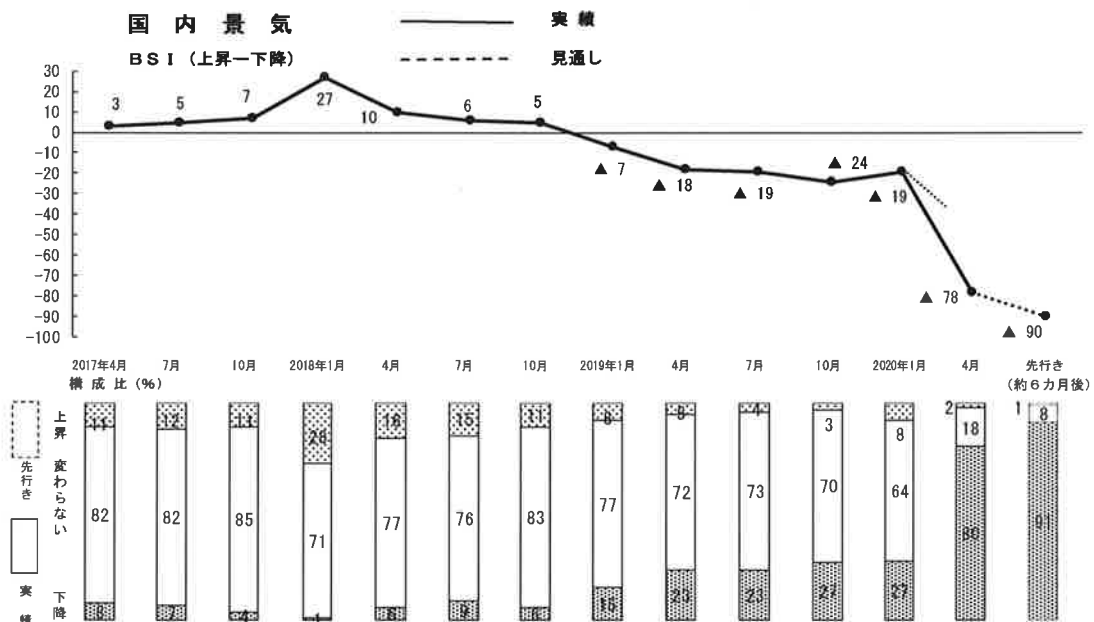
BSIのマイナス幅は、リーマンショックの影響で景気が大きく悪化した2009年4月調査(▲86)以来11年振りの大きさである。

業種別にみると、製造業はBSI▲69で前回調査の▲33から36ポイントの悪化、非製造業は▲83で前回調査の▲11から72ポイントの悪化となった。個別業種では、「飲食店・宿泊」▲100、「不動産」▲91、「運輸・倉庫」▲88、「卸売」▲87などで大きなマイナスとなった。

(先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」1%、「下降」91%で、BSIは▲90と現状から12ポイントの悪化となった。先行きはさらに厳しくなると見ている。

業種別では、製造業はBSI▲87で現状から18ポイントの悪化、非製造業は▲91で8ポイントの悪化となった。



(2) 業界景気

(現 状)

最近の自社業界の景気に対する見方は、「上昇」3%、「下降」64%で、BSIは▲61となり、前回調査の▲32から29ポイントの悪化となった。

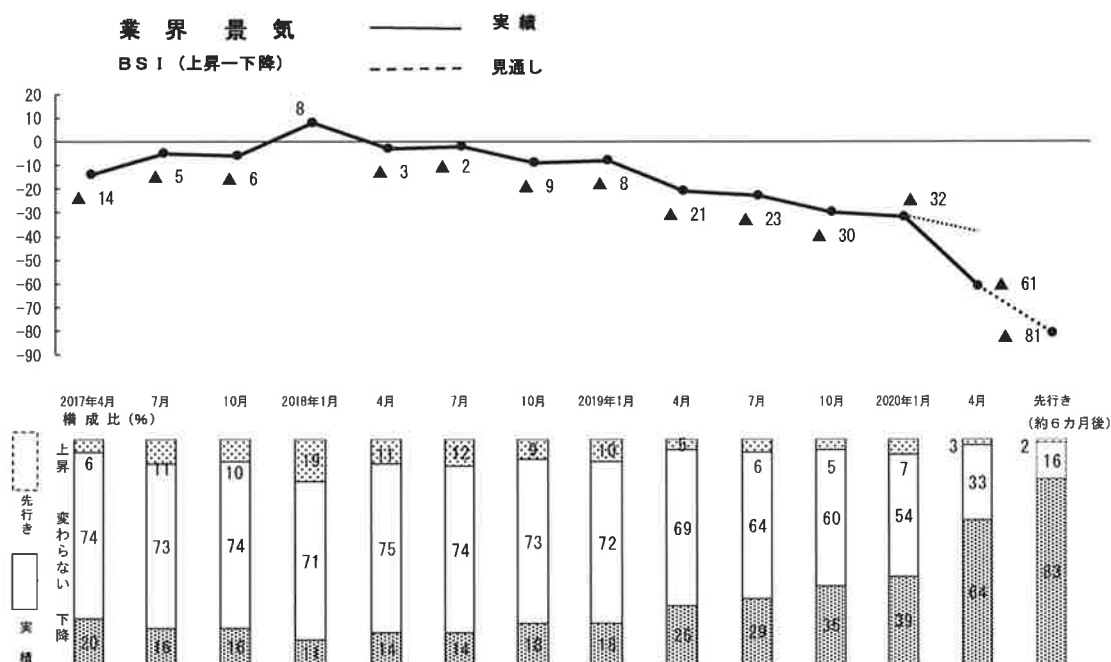
国内景気の見方と同様に大幅な悪化となり、自社の業界景気の景気についても厳しい見方が多くなっている。

業種別にみると、製造業はBSI ▲61で前回調査の▲46から15ポイントの悪化、非製造業は▲61で前回調査の▲24から37ポイントの悪化となった。個別業種では「飲食店・宿泊」▲100、「輸送機械」▲80、「運輸・倉庫」▲75、「食料品」▲75、「サービス」▲73などで大きなマイナスとなった。

(先行き)

先行きについては「上昇」2%、「下降」83%で、BSIは▲81と現状から20ポイントの悪化となった。業界景気の先行きについても、国内景気同様「下降」とするところが多くなり、慎重な見方が強くなっている。

業種別では、製造業はBSI ▲85で現状から24ポイントの悪化、非製造業は▲79で18ポイントの悪化となった。



(3) 自社業況

(現 状)

最近の自社の業況に対する見方は、「良い」とする企業7%、「悪い」とする企業32%で、BSIは▲25となり、前回調査の+1から26ポイントの大幅な悪化となった。

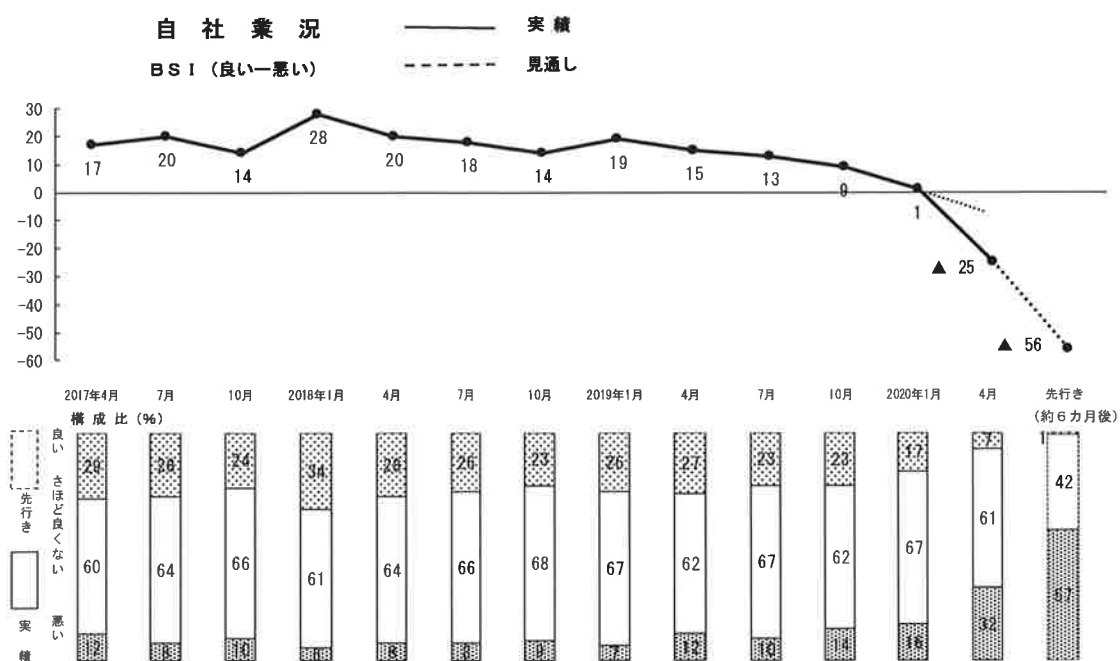
BSIは2015年10月調査以来、4年半振りにマイナスとなった。なお、自社業況のBSIのマイナス幅は2010年1月調査(▲30)以来の大きさである。

業種別にみると、製造業はBSI ▲33で前回調査の▲9から24ポイントの悪化、非製造業は▲21で前回調査の+6から27ポイントの悪化となった。個別業種では「飲食店・宿泊」▲63、「食料品」、「金属製品」とともに▲50、「輸送機械」▲33などで大きなマイナスとなった。

(先行き)

先行きについては「良い」とする企業1%に対し、「悪い」とする企業は57%、BSIは▲56と現状から31ポイントの悪化となった。先行きについては、国内景気の悪化懸念が強いことから、さらに大きなマイナスとなった。

業種別では、製造業はBSIが▲65で現状から32ポイントの悪化、非製造業は▲51で30ポイントの悪化となった。



2. 経営動向

(1) 売上高

(現状)

2020年1～3月期の売上高は、季調済BSI（「増加」－「減少」の企業割合、季節調整済）が▲24となり、前回調査対象期間（2019年10～12月期）の▲19から5ポイントの悪化となった。

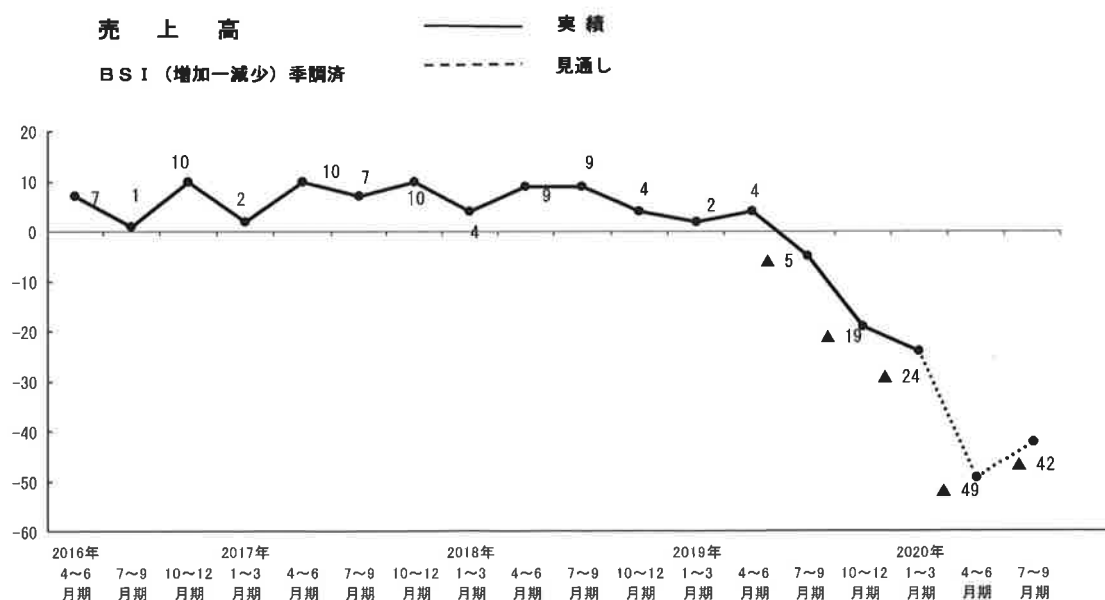
売上高は、前回調査で消費増税の影響もあり大きなマイナスとなり、今回は新型コロナウイルス感染症の影響によりさらに悪化した。

業種別にみると、製造業はBSI ▲26で前回調査の▲39から13ポイントの改善、非製造業は▲23で前回調査の▲7から16ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては、2020年4～6月期のBSIが▲49、7～9月期は▲42と大幅な悪化となった。先行きは、大きなマイナスが続く見通し。

業種別では、製造業が2020年1～3月期、4～6月期、7～9月期に▲26→▲54→▲38、非製造業では▲23→▲44→▲45となっている。



(2) 経常利益

(現 状)

2020年1～3月期の経常利益は、季調済BSIが▲28となり、大きく悪化した前回調査対象期間（2019年10～12月期）の▲31からは3ポイント改善したが、依然大きなマイナスとなっている。

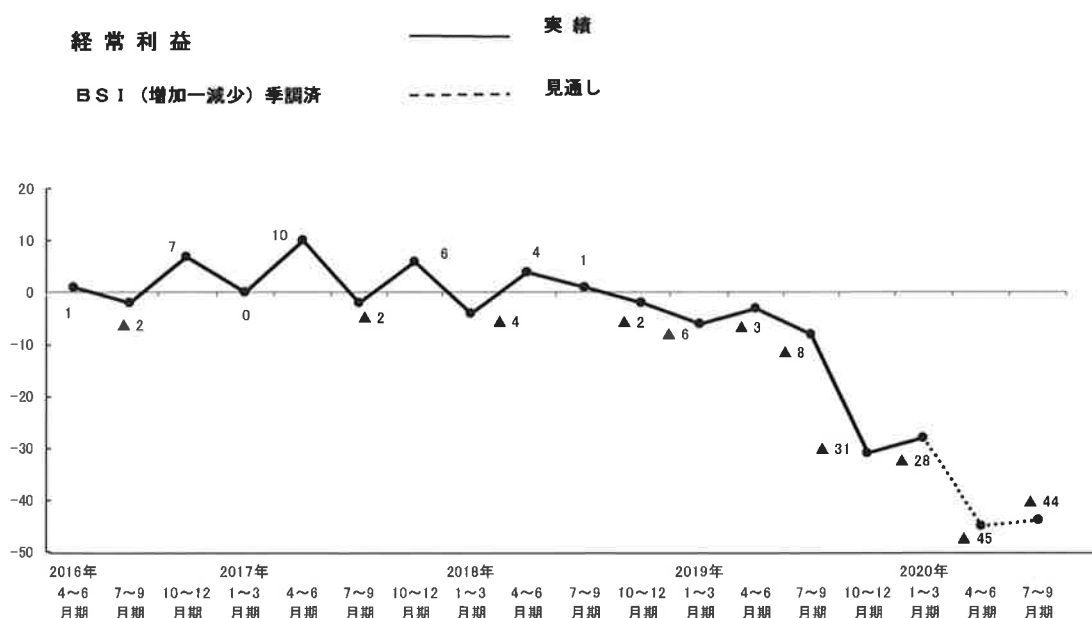
減少の要因（複数回答）としては、「売上・受注の不振」をあげるところが87%、「人件費の上昇」24%などとなった。また、今回「その他」が35%と多くなっており新型コロナウイルス感染症の影響とみられる。

業種別にみると、製造業はBSI▲40で前回調査の▲47から7ポイントの改善、非製造業は▲21で前回調査の▲21から横ばいとなった。

(先行き)

先行きについては、2020年4～6月期のBSIが▲45、7～9月期は▲44となった。先行きは大幅な悪化となり、マイナスが続く見込み。

業種別では、製造業が2020年1～3月期、4～6月期、7～9月期に▲40→▲50→▲42、非製造業では▲21→▲45→▲46となっている。



(3) 設備投資

(現 状)

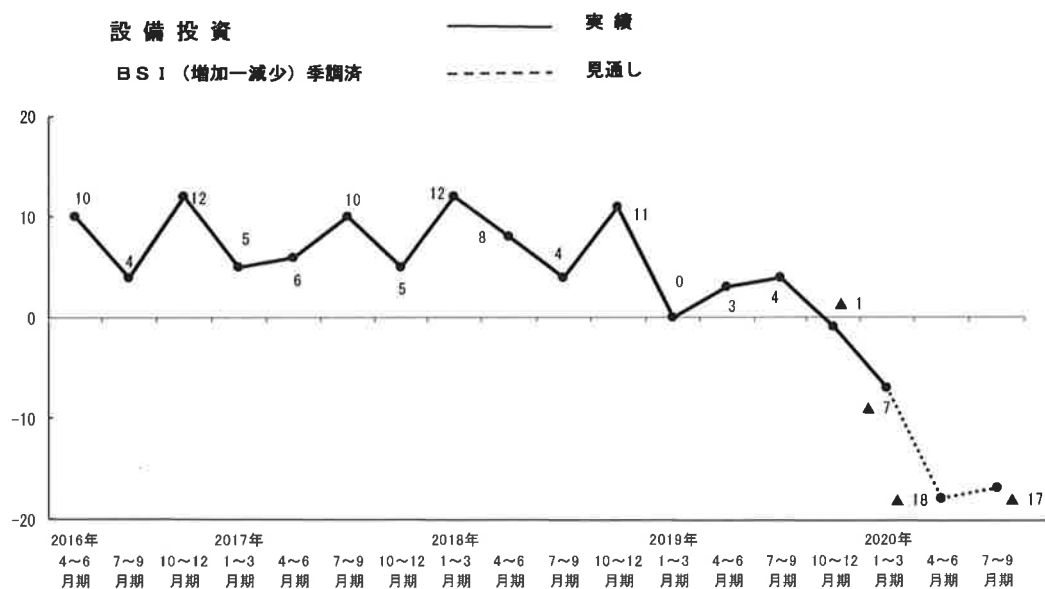
2020年1～3月期の設備投資は、季調済B S Iが▲7となり、前回調査対象期間（2019年10～12月期）の▲1から6ポイントの悪化となった。景気悪化の影響を受け設備投資のB S Iは2期連続のマイナスとなった。

業種別にみると、製造業はB S I ▲10で前回調査の▲1から9ポイントの悪化、非製造業は▲6で前回調査の+1から7ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては、2020年4～6月期のB S Iが▲18、7～9月期は▲17となっており、国内景気のさらなる悪化懸念から慎重な動きが続く見込み。

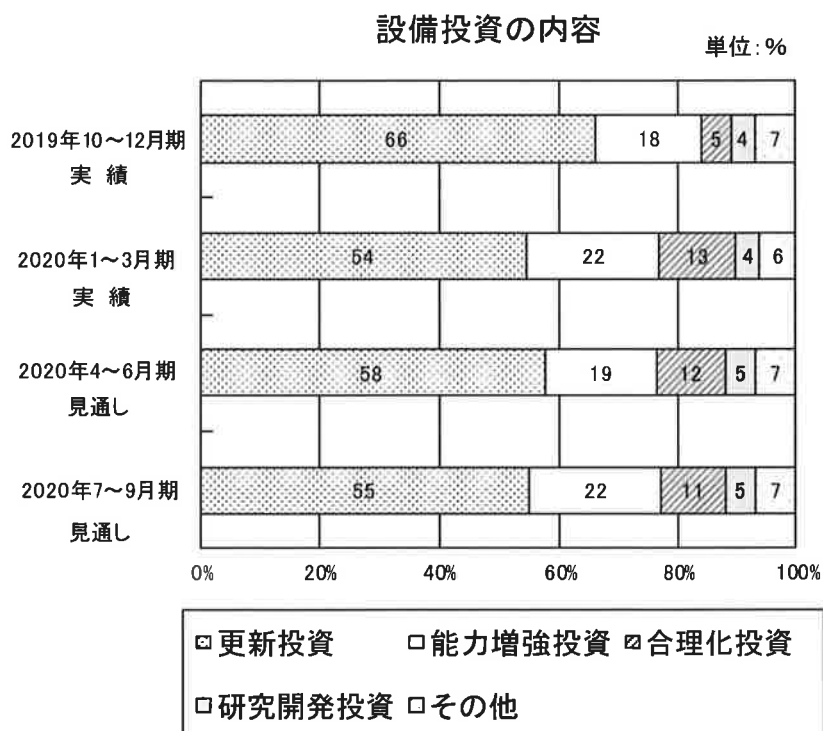
業種別では、製造業が2020年1～3月期、4～6月期、7～9月期に▲10→▲22→▲20、非製造業では▲6→▲16→▲16となっている。



<設備投資の内容>

設備投資の内容については、2020年1～3月期は「更新投資」が54%、「能力増強投資」22%、「合理化投資」13%、「研究開発投資」4%などとなった。「更新投資」が過半を占め、引き続き更新投資中心である。また、「合理化投資」が8ポイント増加したのが目立っている。

2020年4～6月期、7～9月期の見通しについても、引き続き「更新投資」中心となっている。



(4) 雇 用

(現 状)

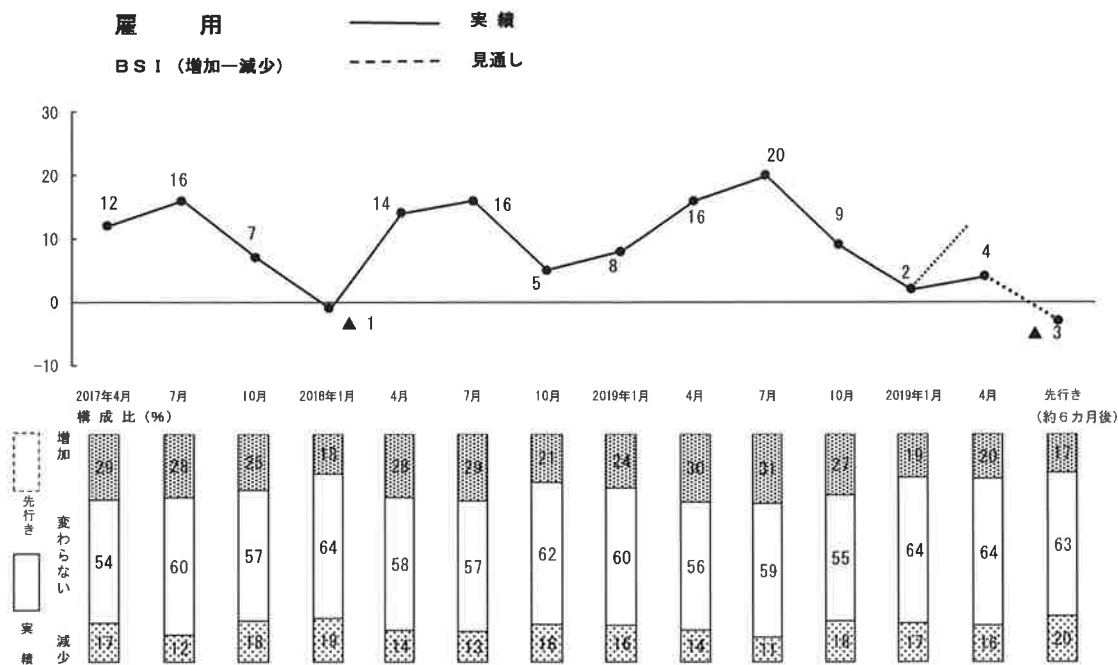
最近（ここ6カ月間）の雇用状況をみると、雇用人員が「増加」とした企業は20%、「減少」とした企業は16%で、BSIは+4と前回調査の+2から2ポイントの改善となった。例年4月調査は、新卒者の採用もありBSIは大きな改善となるが、今回調査では、改善幅はやや小さかった

業種別にみると、製造業はBSI▲2で前回調査の▲4より2ポイントの改善、非製造業は+9で前回調査の+6より3ポイントの改善となった。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「増加」とする企業が17%、「減少」とする企業が20%でBSIは▲3と現状から7ポイントの悪化となった。先行きについては景気の悪化懸念の強まりから雇用もやや悪化することが見込まれる。

業種別では、製造業はBSI▲9で現状から7ポイントの悪化、非製造業は+1で8ポイントの悪化となっている。



(5) 設備操業度 (製造業)

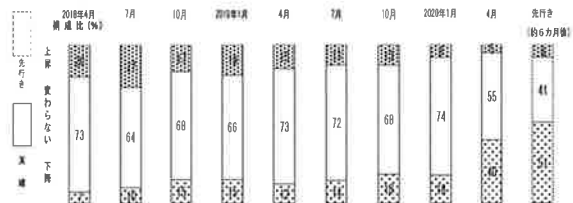
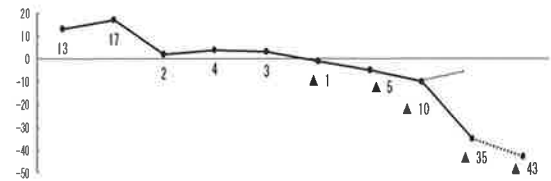
(現 状)

最近 (ここ6カ月間) の設備操業度は、「上昇」5%、「下降」40%と「下降」が大幅に増加しBSI (上昇-下降) は▲35と、前回調査の▲10から25ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行き (約6カ月後) については、「上昇」8%、「下降」51%となり、BSIは▲43と現状より8ポイントの悪化となった。先行きについて、さらなる悪化を見込んでいる。

設備操業度 ——— 実績
BSI (上昇-下降) - - - - 見直し



(6) 在庫水準 (製造業)

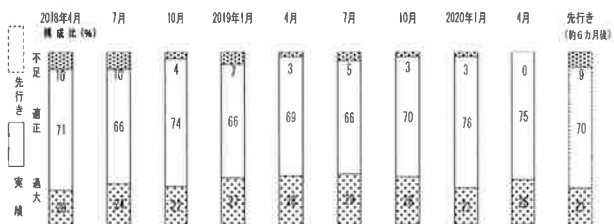
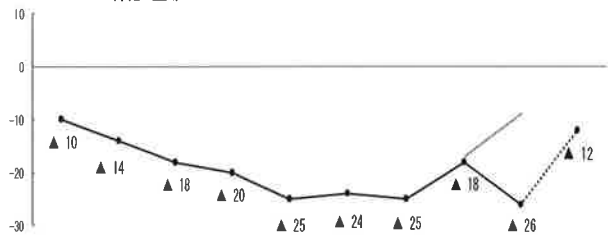
(現 状)

最近の在庫水準は「不足」0%、「過大」26%でBSI (不足-過大) は▲26と前回調査の▲18から8ポイントの悪化となった。在庫水準について、「過大」とするところが多くなっている。

(先行き)

先行きについてはBSIが▲12と、現状より14ポイントの改善となった。先行きについては、在庫が「不足」とする企業が増えている。

製商品の在庫水準 ——— 実績
BSI (不足-過大) - - - - 見直し

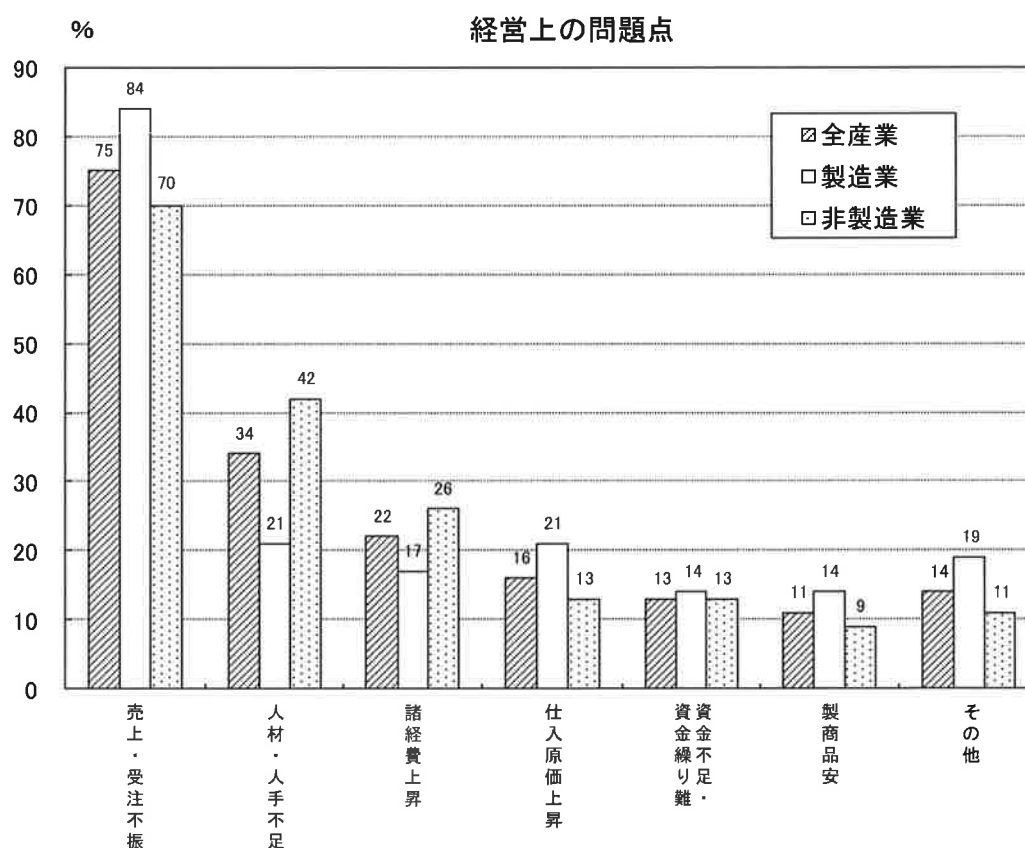


3. 経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）については、「売上・受注不振」が75%と最も多かった。次いで「人材・人手不足」34%、「諸経費上昇」22%、「仕入原価上昇」16%、「資金不足・資金繰り難」13%、「製商品安」11%などとなった。

前回調査と比べると、新型コロナウイルス感染症の影響により「売上・受注不振」が20ポイント増加、「人材・人手不足」は26ポイント減少し、「売上・受注不振」が「人材・人手不足」を上回った。「売上・受注不振」が最も多い項目となるのは、2015年10月調査以来である。

業種別にみると、製造業では「売上・受注不振」84%が最も多く、次いで「人材・人手不足」、「仕入原価上昇」とともに21%、「諸経費上昇」17%などとなった。非製造業では「売上・受注不振」70%が最も多く、次いで「人材・人手不足」42%、「諸経費上昇」26%、「仕入原価上昇」、「資金不足・資金繰り難」とともに13%などとなっている。



4. 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症の経営への影響

今回調査では新型コロナウイルス感染症の経営への影響について聞いた。新型コロナウイルス感染症の経営への影響については、「大きな影響が出ている」28.2%、「影響が出ている」55.5%、「影響は出ていない」16.4%となり、「大きな影響が出ている」と「影響が出ている」を合わせると83.7%と8割以上の企業で「影響が出ている」としている。

業種別にみると「大きな影響が出ている」が製造業で20.8%、非製造業で32.2%、「影響が出ている」が製造業で64.9%、非製造業で50.3%、「影響は出ていない」が製造業で14.3%、非製造業で17.5%であった。

また、個別業種で「大きな影響が出ている」が多かったのは、「飲食店・宿泊業」87.5%、「サービス業」40.0%、「小売業」38.9%などであった。

新型コロナウイルス感染症の影響

単位：%

	全産業	製造業	非製造業
大きな影響が出ている	28.2	20.8	32.2
影響が出ている	55.5	64.9	50.3
影響は出ていない	16.4	14.3	17.5

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響の内容

新型コロナウイルス感染症によりどのような影響が出ているか（複数回答）については、「受注の減少」が最も多く63.9%、次いで「商談の中止、延期」55.6%、「イベントやフェアの中止、延期」45.8%、「来客数等の減少」36.6%、「原材料、商品仕入れの停滞」35.2%、「生産現場等の稼働率の低下」24.5%、「資金繰りの悪化」23.1%、「従業員の休務増加による人員不足」12.5%となった。業種別にみると、「受注の減少」、「生産現場等の稼働率の低下」で製造業が非製造業に比べて多く、「来客数等の減少」、「イベントやフェアの中止、延期」で非製造業が製造業に比べて多いのが目立った。

新型コロナウイルス感染症の影響の内容(複数回答)

単位：%

	全産業	製造業	非製造業
受注の減少	63.9	76.0	57.4
商談の中止、延期	55.6	62.7	51.8
イベントやフェアの中止、延期	45.8	41.3	48.2
来客数等の減少	36.6	21.3	44.7
原材料、商品仕入れの停滞	35.2	38.7	33.3
生産現場等の稼働率の低下	24.5	36.0	18.4
資金繰りの悪化	23.1	25.3	22.0
従業員の休務増加による人員不足	12.5	9.3	14.2

付表 業種別項目別BSIの推移

業 種	項 目 期 別	国内景気 (上昇-下降)			業界の景気 (上昇-下降)			自社の業況 (良い-悪い)		
		2020年 1月 前回調査	2020年 4月 今回調査	2020年 9月まで 見通し	2020年 1月 前回調査	2020年 4月 今回調査	2020年 9月まで 見通し	2020年 1月 前回調査	2020年 4月 今回調査	2020年 9月まで 見通し
		全 産 業	▲ 19	▲ 78	▲ 90	▲ 32	▲ 61	▲ 81	1	▲ 25
製 造 業	▲ 33	▲ 69	▲ 87	▲ 46	▲ 61	▲ 85	▲ 9	▲ 33	▲ 65	
食 料 品	▲ 25	▲ 75	▲ 88	▲ 25	▲ 75	▲ 88	▲ 25	▲ 50	▲ 75	
織 維	0	50	▲ 100	0	0	▲ 100	0	0	▲ 50	
化 学	40	▲ 67	▲ 100	0	▲ 67	▲ 100	40	▲ 67	▲ 100	
窯 業・土 石	▲ 50	—	—	▲ 50	—	—	100	—	—	
鉄 鋼	0	▲ 100	▲ 100	0	▲ 100	▲ 100	100	100	▲ 100	
非 鉄 金 属	▲ 50	▲ 100	▲ 67	▲ 50	▲ 67	▲ 67	▲ 50	▲ 67	▲ 33	
金 属 製 品	▲ 75	▲ 83	▲ 100	▲ 100	▲ 67	▲ 100	0	▲ 50	▲ 67	
一 般 機 械	▲ 75	▲ 75	▲ 100	▲ 50	▲ 75	▲ 100	▲ 50	▲ 25	▲ 67	
電 気 機 械	▲ 42	▲ 53	▲ 87	▲ 42	▲ 40	▲ 87	0	▲ 13	▲ 67	
輸 送 機 械	▲ 43	▲ 80	▲ 93	▲ 57	▲ 80	▲ 93	▲ 15	▲ 33	▲ 73	
精 密 機 械	▲ 60	—	—	▲ 80	—	—	▲ 40	—	—	
木 材 木 製 品	0	▲ 100	▲ 80	▲ 75	▲ 80	▲ 80	0	▲ 60	▲ 100	
紙・紙加工品	▲ 50	▲ 34	▲ 34	▲ 50	▲ 34	▲ 34	▲ 50	▲ 100	▲ 67	
印 刷	0	▲ 100	▲ 100	▲ 67	▲ 100	▲ 100	▲ 67	▲ 33	▲ 33	
そ の 他	▲ 20	▲ 56	▲ 78	▲ 20	▲ 33	▲ 56	0	▲ 11	▲ 22	
非 製 造 業	▲ 11	▲ 83	▲ 91	▲ 24	▲ 61	▲ 79	6	▲ 21	▲ 51	
卸 売	▲ 38	▲ 87	▲ 93	▲ 54	▲ 52	▲ 70	▲ 8	▲ 13	▲ 47	
小 売	▲ 29	▲ 83	▲ 83	▲ 41	▲ 67	▲ 72	▲ 18	▲ 22	▲ 44	
建 設	0	▲ 68	▲ 95	▲ 21	▲ 47	▲ 84	4	▲ 11	▲ 58	
不 動 産	0	▲ 91	▲ 100	▲ 18	▲ 45	▲ 50	9	0	▲ 42	
運 輸・倉 庫	▲ 15	▲ 88	▲ 82	8	▲ 75	▲ 94	36	▲ 32	▲ 69	
電 気・ガ ス	▲ 20	▲ 60	▲ 80	▲ 20	▲ 40	▲ 60	20	▲ 40	▲ 40	
情 報 通 信	0	▲ 100	▲ 100	20	▲ 25	▲ 100	20	▲ 25	▲ 50	
飲 食 店・宿 泊	0	▲ 100	▲ 75	▲ 22	▲ 100	▲ 75	22	▲ 63	▲ 62	
サ ー ビ ス	4	▲ 80	▲ 97	▲ 15	▲ 73	▲ 93	8	▲ 20	▲ 47	

項目 期別 業種	売上高 (増加-減少)						経常利益 (増加-減少)					
	原数値			季調値			原数値			季調値		
	2020年 1~3月 実績	2020年 4~6月 実績見込み	2020年 7~9月 見通し	2020年 1~3月 実績	2020年 4~6月 実績見込み	2020年 7~9月 見通し	2020年 1~3月 実績	2020年 4~6月 実績見込み	2020年 7~9月 見通し	2020年 1~3月 実績	2020年 4~6月 実績見込み	2020年 7~9月 見通し
全産業	▲ 26	▲ 58	▲ 43	▲ 24	▲ 49	▲ 42	▲ 29	▲ 55	▲ 46	▲ 28	▲ 45	▲ 44
製造業	▲ 34	▲ 66	▲ 38	▲ 26	▲ 54	▲ 38	▲ 43	▲ 63	▲ 43	▲ 40	▲ 50	▲ 42
食料品	▲ 63	▲ 62	▲ 25	7	▲ 60	▲ 22	▲ 62	▲ 62	▲ 37	▲ 13	▲ 49	▲ 18
繊維	▲ 50	0	▲ 50	▲ 26	▲ 36	▲ 54	▲ 50	0	▲ 50	▲ 22	▲ 31	▲ 67
化学	▲ 33	▲ 67	▲ 67	▲ 40	▲ 51	▲ 74	▲ 33	▲ 100	▲ 33	▲ 55	▲ 75	▲ 35
窯業・土石	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉄鋼	0	0	0	▲ 34	▲ 9	▲ 30	0	▲ 100	▲ 100	▲ 19	▲ 100	▲ 43
非鉄金属	34	▲ 67	▲ 33	12	▲ 54	▲ 50	34	▲ 67	▲ 33	14	▲ 60	▲ 49
金属製品	▲ 67	▲ 67	▲ 33	▲ 70	▲ 8	▲ 49	▲ 50	▲ 67	▲ 33	▲ 72	▲ 8	▲ 55
一般機械	0	▲ 75	▲ 50	▲ 36	▲ 40	▲ 42	0	▲ 100	▲ 67	▲ 36	▲ 66	▲ 67
電気機械	▲ 27	▲ 66	▲ 66	▲ 16	▲ 43	▲ 70	▲ 36	▲ 71	▲ 71	▲ 31	▲ 46	▲ 73
輸送機械	▲ 33	▲ 80	▲ 14	▲ 12	▲ 71	▲ 17	▲ 60	▲ 60	▲ 20	▲ 33	▲ 63	▲ 29
精密機械	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木材木製品	0	▲ 80	▲ 20	▲ 66	▲ 32	▲ 5	▲ 80	▲ 60	▲ 40	▲ 100	▲ 24	▲ 33
紙・紙加工品	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 38	▲ 100	▲ 91	▲ 100	▲ 67	▲ 67	▲ 29	▲ 86	▲ 57
印刷	0	▲ 100	0	▲ 12	▲ 58	25	▲ 34	▲ 100	0	▲ 42	▲ 78	23
その他	▲ 45	▲ 33	▲ 22	▲ 22	▲ 57	▲ 24	▲ 22	▲ 22	▲ 45	▲ 19	▲ 39	▲ 42
非製造業	▲ 22	▲ 53	▲ 45	▲ 23	▲ 44	▲ 45	▲ 21	▲ 51	▲ 48	▲ 21	▲ 45	▲ 46
卸売	▲ 29	▲ 42	▲ 49	▲ 10	▲ 37	▲ 47	▲ 29	▲ 30	▲ 40	▲ 15	▲ 26	▲ 35
小売	▲ 6	▲ 89	▲ 50	▲ 36	▲ 57	▲ 52	5	▲ 88	▲ 65	▲ 21	▲ 48	▲ 63
建設	▲ 11	▲ 47	▲ 42	▲ 28	▲ 29	▲ 51	▲ 11	▲ 52	▲ 42	▲ 20	▲ 38	▲ 53
不動産	8	▲ 36	▲ 50	▲ 6	▲ 27	▲ 39	0	▲ 34	▲ 59	▲ 16	▲ 26	▲ 34
運輸・倉庫	▲ 25	▲ 57	▲ 56	▲ 1	▲ 62	▲ 45	▲ 43	▲ 57	▲ 57	▲ 28	▲ 62	▲ 48
電気・ガス	▲ 20	▲ 80	▲ 80	-	-	-	60	▲ 60	▲ 60	-	-	-
情報通信	50	0	0	15	9	▲ 5	0	▲ 33	▲ 67	▲ 21	▲ 32	▲ 65
飲食店・宿泊	▲ 75	▲ 50	0	▲ 36	▲ 96	▲ 23	▲ 75	▲ 43	▲ 14	▲ 36	▲ 79	▲ 31
サービス	▲ 37	▲ 56	▲ 43	▲ 31	▲ 56	▲ 44	▲ 34	▲ 54	▲ 46	▲ 27	▲ 52	▲ 48

業 種 期 別 項 目	設 備 投 資 (増加-減少)						雇 用 (増加-減少)		
	原 数 値			季 調 値			2020年 1月 前回調査	2020年 4月 今回調査	2020年 9月まで 見通し
	2020年 1~3月 実 績	2020年 4~6月 実績見込み	2020年 7~9月 見 通 し	2020年 1~3月 実 績	2020年 4~6月 実績見込み	2020年 7~9月 見 通 し			
全 産 業	▲ 7	▲ 23	▲ 16	▲ 7	▲ 18	▲ 17	2	4	▲ 3
製 造 業	▲ 11	▲ 27	▲ 17	▲ 10	▲ 22	▲ 20	▲ 4	▲ 2	▲ 9
食 料 品	▲ 12	▲ 25	0	▲ 13	▲ 5	9	50	13	▲ 12
織 維	0	50	▲ 50	▲ 10	43	▲ 53	0	0	0
化 学	▲ 33	0	0	▲ 35	13	▲ 5	0	67	0
窯 業・土 石	-	-	-	-	-	-	50	-	-
鉄 鋼	0	0	100	▲ 11	55	100	0	0	0
非 鉄 金 属	▲ 33	0	0	▲ 5	▲ 17	▲ 16	0	0	▲ 33
金 属 製 品	▲ 34	▲ 67	▲ 50	▲ 37	▲ 40	▲ 40	▲ 25	▲ 50	▲ 33
一 般 機 械	25	▲ 50	▲ 50	10	▲ 65	▲ 29	0	0	0
電 気 機 械	▲ 7	▲ 27	▲ 26	4	▲ 16	▲ 24	8	▲ 7	▲ 6
輸 送 機 械	▲ 7	▲ 33	▲ 7	▲ 1	▲ 22	▲ 20	▲ 22	0	▲ 20
精 密 機 械	-	-	-	-	-	-	0	-	-
木 材 木 製 品	20	20	20	6	16	11	25	20	40
紙・紙加工品	0	▲ 50	▲ 50	▲ 35	▲ 17	▲ 41	0	0	▲ 33
印 刷	▲ 67	▲ 67	▲ 67	▲ 77	▲ 59	▲ 77	▲ 33	0	0
そ の 他	▲ 11	▲ 22	▲ 11	7	▲ 24	▲ 6	▲ 30	▲ 22	0
非 製 造 業	▲ 5	▲ 21	▲ 16	▲ 6	▲ 16	▲ 16	6	9	1
卸 売	▲ 4	▲ 14	▲ 7	▲ 12	▲ 9	▲ 10	▲ 17	17	6
小 売	▲ 5	▲ 11	▲ 11	▲ 5	▲ 2	▲ 12	▲ 12	11	▲ 11
建 設	▲ 6	▲ 23	▲ 24	▲ 7	▲ 23	▲ 21	21	▲ 5	21
不 動 産	▲ 17	▲ 8	▲ 17	▲ 21	▲ 22	▲ 21	27	25	▲ 8
運 輸・倉 庫	▲ 6	▲ 20	▲ 27	▲ 17	▲ 7	▲ 21	43	25	▲ 12
電 気・ガ ス	▲ 20	▲ 60	▲ 40	-	-	-	0	20	40
情 報 通 信	▲ 25	0	0	▲ 33	▲ 11	▲ 6	20	0	25
飲 食 店・宿 泊	▲ 37	▲ 63	▲ 25	▲ 33	▲ 44	▲ 19	0	▲ 50	▲ 25
サ ー ビ ス	14	▲ 25	▲ 11	21	▲ 25	▲ 15	▲ 4	6	0

業 種	項 目 期 別	設備操業度 (上昇-下降)			在庫水準 (不足-過大)		
		2020年 1月 前回調査	2020年 4月 今回調査	2020年 9月まで 見通し	2020年 1月 前回調査	2020年 4月 今回調査	2020年 9月まで 見通し
		全 産 業	-	-	-	-	-
製 造 業	▲ 10	▲ 35	▲ 43	▲ 18	▲ 26	▲ 12	
食 料 品	25	▲ 15	▲ 14	0	▲ 13	▲ 12	
織 維	0	0	30	▲ 50	▲ 100	▲ 50	
化 学	20	▲ 33	▲ 100	▲ 20	▲ 33	0	
窯 業・土 石	0	-	-	0	-	-	
鉄 鋼	▲ 100	▲ 100	▲ 100	0	▲ 100	▲ 100	
非 鉄 金 属	▲ 25	▲ 67	▲ 33	0	0	▲ 33	
金 属 製 品	▲ 25	▲ 33	▲ 50	0	▲ 33	▲ 16	
一 般 機 械	▲ 25	▲ 33	▲ 100	0	0	0	
電 気 機 械	0	▲ 20	▲ 40	▲ 17	▲ 20	0	
輸 送 機 械	▲ 22	▲ 46	▲ 33	▲ 29	▲ 27	▲ 13	
精 密 機 械	0	-	-	▲ 20	-	-	
木 材 木 製 品	0	▲ 60	▲ 20	▲ 50	▲ 20	20	
紙・紙加工品	▲ 100	▲ 67	▲ 67	▲ 50	▲ 33	▲ 33	
印 刷	▲ 33	▲ 67	▲ 100	0	0	0	
そ の 他	0	▲ 11	▲ 33	▲ 20	▲ 44	▲ 22	
非 製 造 業	-	-	-	-	-	-	
卸 売	-	-	-	-	-	-	
小 売	-	-	-	-	-	-	
建 設	-	-	-	-	-	-	
不 動 産	-	-	-	-	-	-	
運 輸・倉 庫	-	-	-	-	-	-	
電 気・ガ ス	-	-	-	-	-	-	
情 報 通 信	-	-	-	-	-	-	
飲 食 店・宿 泊	-	-	-	-	-	-	
サ ー ビ ス	-	-	-	-	-	-	

<調査手法>

わが国の代表的な景気動向調査として、日本銀行の「企業短期経済観測調査（短観）」と内閣府・財務省の「法人企業景気予測調査」とがあります。本調査はそれらの全国ベースの調査に対応する地域ベースの調査として、埼玉県内における経済産業動向や企業経営動向をアンケートの方法によって集計・調査したものです。

本文中にあるBSIは、ビジネス・サーベイ・インデックス（Business Survey Index）の略で、質問事項に対して「増加」「変わらない」「減少」の各要素を持つ3種類の選択肢を用意し、このうち増加要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合の差をとったもので、企業の景況判断についての強弱感を指標化したものです。BSIのプラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化を表しています。例えば、回答した企業500社のうち150社（30%）の企業で売上が増加し、50社（10%）の企業が減少した場合、BSIは次のように20となります。

$$BSI = (150/500 \times 100) - (50/500 \times 100) = 30 - 10 = 20$$

<調査要領>

1. 調査の目的

埼玉県内における経済産業動向、企業経営動向を調査して、地域内企業の経営判断の参考に供するとともに、地域経済産業の発展に寄与することを目的としております。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出、産業分類は日本標準産業分類に基づいて製造業15業種、非製造業9業種、計24業種に分類しました。

対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

3. 調査時期 2020年4月

4. 調査方法

最近と先行きの景気・業況判断、2020年1～3月期の経営動向及び2020年4～6月期、7～9月期の経営予測をアンケート方式により調査しました。

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業939社のうち、220社（回答率23.4%）。回答企業の業種別内訳と中小企業（中小企業庁方式）の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全 産 業	939	220	100.0	90.5
製 造 業	313	77	35.0	93.5
食 料 品	37	8	3.6	100.0
織 維	12	2	0.9	100.0
化 学	30	3	1.4	100.0
窯 業 ・ 土 石	9	0	0.0	-
鉄 鋼	9	1	0.5	100.0
非 鉄 金 属	9	3	1.4	100.0
金 属 製 品	19	6	2.7	100.0
一 般 機 械	34	4	1.8	100.0
電 気 機 械	36	15	6.8	86.7
輸 送 機 械	32	15	6.8	80.0
精 密 機 械	14	0	0.0	-
木 材 ・ 木 製 品	9	5	2.3	100.0
紙 ・ 紙 加 工 品	12	3	1.4	100.0
印 刷	27	3	1.4	100.0
そ の 他 製 造	24	9	4.1	100.0
非 製 造 業	626	143	65.0	88.8
卸 売	94	31	14.1	87.1
小 売	86	18	8.2	61.1
建 設	67	19	8.6	100.0
不 動 産	59	12	5.5	100.0
運 輸 ・ 倉 庫	81	16	7.3	100.0
電 気 ・ ガ ス	14	5	2.3	100.0
情 報 通 信	51	4	1.8	100.0
飲 食 店 ・ 宿 泊	42	8	3.6	75.0
サ ー ビ ス	132	30	13.6	90.0